



回答率：協議会委員100%、保護者77.4%、児童99.6%、教職員100%

学校教育目標

1	教育方針・目標の理解	2	意欲的な学校生活	3	教師の連携協力
学校は、児童や保護者に学校の教育方針や教育目標をわかりやすく示していると思いますか。		子供は、充実した学校生活を送っていると思いますか。		全職員で、連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。	
<考察> 【1】「そう思う」「どちらかといえばそう思う」（以下：肯定的な回答）が、 学校運営協議会委員（以下：協議会委員）100%、保護者90%、児童93%、教職員100% であった。今後も、児童に対し集会等でその具体を繰り返し伝えたり、各学級で機会ある毎に伝えたりしていきたい。また、保護者に対しも学校便りや学校ホームページ等での周知を継続しその認知度をより高めたい。（PTA総会等が実施された場合は、より具体的に伝えていきたい） 【2】肯定的な回答が、 協議会委員100%、保護者93%、児童89%、教職員100% であった。今後も、子供の視点に立った授業改善や自己有用感を高揚させる取組、認め・褒め・励まし・伸ばす指導の徹底、いじめ防止に係る毎月のアンケートとそれに伴う個別面談等を充実させ、学校生活に対する満足度をより高めていきたい。 【3】肯定的な回答が、 学校評議員100%、保護者90%、教職員100% であった。今後も、学校行事や教科指導（授業改善）、生徒指導（いじめ防止）などにおいて、密な情報共有のもと、全職員で協働して取り組むこと（チーム学校）を大切にしていきたい。					

教科指導について

4	授業づくりの工夫	5	意欲的な学習態度	<考察> 【4】肯定的な回答が、 協議会委員100%、保護者93%、児童96%、教職員100% であった。今後も、子供の視点に立った授業改善（取組の重点：課題設定・学び合い・振り返りの工夫）を学校総体で進め、子供に分かる・できる・もっとやりたいという喜びをより味わわせたい。併せて、児童が主体的に取り組む家庭学習のあり方についても引き続き追求していきたい。 【5】肯定的な回答が、 協議会委員100%、保護者86%、児童90%、教職員100% であった。今後も、魅力的な教材開発や思考を揺さぶる発問、ICTの効果的な活用、協働的な学習活動の工夫、また、結果のみではなく子供の挑戦（過程）を常に賞賛していきたい。
学校は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。		子供たちは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。		

道徳教育 心の教育について

6	道徳、心の教育の充実	7	あいさつ、礼儀の励行	<考察> 【6】肯定的な回答が、 協議会委員100%、保護者90%、児童89%、教職員100% であった。今後も、学校総体で道徳科をはじめ全教育活動を通して、子供たちの生活に即した指導を行うことで、道徳的実践力を高めていきたい。 【7】肯定的な回答が、 協議会委員75%、保護者81%、児童89%、教職員100% であった。1年間、「学校で練習した挨拶を地域で発揮しよう」を合い言葉に取り組んできたが、協議会委員と保護者の認知度が低かったことから、家庭や地域での挨拶の習慣化が図れていないことが分かった。今後も家庭や地域と連携し、「地域（家庭）での挨拶」を奨励していきたい。
学校は、思いやりや感謝などを大切にする心の教育の充実に努めていると思いますか。		子供たちは、あいさつがきちんとできていると思いますか。		

人権同和教育について

8	一人一人の児童の尊重	9	友達への思いやり
学校は、一人一人の子供を大切にされた指導や対応ができていますか。		子供たちは、友達となかよくしていると思いますか。	
<考察> 【8】肯定的な回答が、 協議会委員92%、保護者が83%、児童96%、教職員100% であった。児童の認知度は高かったが、保護者の認知度が低かったことから、より一人一人の子供に応じたきめ細かな指導を心がけると共に、保護者が気軽に相談し易い体制や雰囲気も整えていきたい。 【9】肯定的な回答が、 協議会委員92%、保護者94%、児童98%、教職員100% であった。今後も子供同士が認め合場を日常的に設定し、支え合える関係づくりに尽力していきたい。ご家庭でも友達の良い姿を発見し認めるような声かけをお願いします。			

学校行事について

10	学校行事等の工夫
学校は、学校行事（運動会など）が工夫されていると思いますか。	
<考察> 【10】肯定的な回答が、 協議会委員100%、保護者92%、児童93%、教職員100% であった。これは、コロナ禍の中でも感染防止対策を講じた上で、全学校行事を実施した成果と考える。今後も子供たちの学びを極力止めないよう努力していきたい。そして、学校行事等を通して、その過程を認め・褒め・励まし・伸ばす指導を行う中で、子供の自己有用感を高めていきたい。	

生徒指導 教育相談について

11	児童理解	12	規範意識	13	いじめや問題への対応
<p>学校は、子供の良さを見つけ、子供のことを理解しようとしていると思いますか。</p>		<p>子供たちは、規則やマナーを守っていると思いますか。</p>		<p>学校は、いじめや問題行動等があったとき、すぐに対応していると思いますか。</p>	
<p><考察> [11] 肯定的な回答が、協議会委員100%、保護者92%、児童94%、教職員100%であった。今後も、子供に寄り添い、積極的に話しかけたり、遊んだりする中で、深い児童理解に努めていきたい。また、伸びや変容を大いに賞賛していきたい。 [12] 肯定的な回答が、協議会委員92%、保護者91%、児童93%、教職員95%であった。今後も、道徳科や特別活動を中心に全教育活動を通して、きまりやマナーを守ることの必然性や意義を理解させ、実践意欲を掻き立てていきたい。ご家庭でもお子様の地域での過ごし方を把握され、きまりを守ることの大切さなどを繰り返しお話しください。 [13] 肯定的な回答が、協議会委員90%、保護者83%、児童97%、教職員100%であった。児童の認知度が高かったのは、今年度から始めた「いじめ防止に係るアンケート」及びそれに伴う「個別面談」の毎月実施の成果と考える。今後も継続させ、いじめの未然防止や早期発見・早期解消（対応）に学校総体で取り組んでいきたい。ご家庭でもいじめは絶対に許されないものであることを繰り返しお伝えください。また、お子様の様子で気になることが続いた際には、お気軽にご相談ください。</p>					

健康教育 安全について

14	安全と事故防止	15	体力向上	<p><考察> [14] 肯定的な回答が、協議会委員100%、保護者92%、児童91%、教職員100%であった。今後も危険予知能力の育成や全職員による毎月の安全点検を徹底したい。また、事故防止等に係る地域総ぐるみでの見守りも引き続きお願いいたします。 [15] 肯定的な回答が、協議会委員100%、保護者74%、児童88%、教職員100%であった。保護者の認知度が低く、児童の認知度も88%にとどまったことから、体育科指導の充実及び業間に行っているランランタイム、昼休み時間の外遊びの奨励などにより、体力向上を図ってきたい。また、家庭においても日常的な運動の習慣化に努めていただきたい。</p>	
<p>学校は、子供の安全と事故防止に努めていると思いますか。</p>		<p>子供たちは、進んでスポーツなどを行っていると思いますか。</p>			

学校環境について

16	環境の整理・美化	17	施設・設備の安全管理	<p><考察> [16] 肯定的な回答が、協議会委員100%、保護者97%、児童94%、教職員100%であった。今後も花壇や運動場、掲示板等の整備及び校内清掃の徹底に取り組むたい。 [17] 肯定的な回答が、協議会委員100%、保護者96%、児童96%、教職員100%であった。今後も毎月全職員で実施している校内安全点検や日常的な観察を通じた危険箇所の確認（ヒヤリ・ハット報告）等に努め、見出した問題点は関係機関との連携のもと直ちに改善していきたい。</p>	
<p>学校は、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。</p>		<p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>			

情報の公開・発信について

18	学校の予定等がわかる情報発信	19	教育活動への参加
<p>学校の情報は、各種便りやホームページ等で、十分に発信されていると思いますか。</p>		<p>学校が公開している教育活動（行事、授業参観等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。</p>	
<p><考察> [18] 肯定的な回答が、協議会委員100%、保護者96%、教職員100%であった。今後も学校ホームページで児童の活動の様子や学校行事等の予定等を随時掲載したり、各種便り（学校・学級・保健等）で様々な情報を発信したりしていきたい。 [19] 肯定的な回答が、協議会委員100%、保護者94%、教職員100%であった。コロナ禍の中、様々な制限を設けましたが、保護者の方には極力見ていただくことをご理解いただき感謝します。今後もなるべく多くの方のニーズに対応した行事等を企画・運営していきたい。</p>			

家庭・地域の連携について

20	家庭や地域との連携協力
<p>学校は、家庭や地域と連携協力しながら教育活動を進めていると思いますか。</p>	
<p><考察> [20] 肯定的な回答が、協議会委員100%、保護者87%、教職員100%であった。保護者の認知度が低かったことから、今後、一層の情報の共有や相談しやすい環境づくりに努め、家庭と学校の連携（共育）を強めていきたい。</p>	

来年度の具体的な取組について

- 【あいさつ、礼儀の励行】 日常的に教師から声かけを行い、学校総体でレベル5のあいさつを目指す。また、家庭・地域への啓発を図る。
- 【規範意識】 きまりやマナーを守ることの必然性や意義を生活に即して理解させ、実践意欲を掻き立てる。
- 【体力向上】 業間時間のランランタイムや昼休みの外遊びなどを奨励し、運動の習慣化を図る。